

平和で、豊かで、美しく、可愛いものが  
ほんとうに好きで、そういうものを  
こわしていこうとする力に  
限りない憤りを感じます。

いわさきちひろ



1 いわさきちひろ 母の日 1972年

南を仰いで古里を想い、  
水を掌から飲んで家族との夕餉を  
しのび、夜の地表のぬくみに  
母の健在を祈った。

香月泰男



2 香月泰男 父と子 1969年

ちひろと香月泰男  
—母のまなざし、父のまなざし—

山口県生まれの画家・香月泰男は、第二次世界大戦後のシベリア抑留から復員後、ほぼ故郷の三隅を離れることなく、愛する家族や身近な自然のなかで制作を続けました。香月より7年後の1918年に生まれたいわさきちひろは、戦後、東京の練馬区下石神井（現ちひろ美術館・東京 所在地）で家族と暮らしながら、子どもの本のの世界で活躍しました。

生涯会うことのなかったものの、ふたりはほぼ同じ時代を生きています。それぞれに戦争の苦しみを知っていたがゆえに、家族、身近なものを大切にしたい想いは強く深いものであったと想像されます。ふたりの創作の根底には、ともに平和への願いがありました。

本展では、ふたりの作品を「母のまなざし、父のまなざし」「戦争」「家族への想い」「小さきものへのまなざし」の4つのテーマに分けて紹介します。

\*安曇野ちひろ美術館で開催された「ちひろと香月」展とは、展示作品が異なります。

協力：香月家、香月泰男美術館、山口県立美術館 後援：杉並区教育委員会、中野区、西東京市教育委員会、練馬区教育委員会、武蔵野市教育委員会

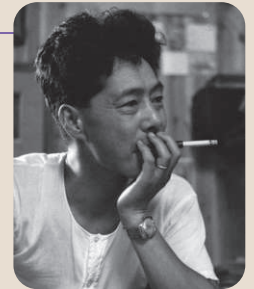
いわさきちひろ Chihiro Iwasaki  
1918～1974

福井県武生市（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰丸、木俊に師事。1946年日本共産党に入党。1949年、紙芝居『お母さんの話』を出版、翌年文部大臣賞受賞。1950年松本善明と結婚、翌年長男猛を産出。1952年、下石神井（東京・練馬）に自宅兼アトリエを建てる。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』（至光社）でポーロニャ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。1974年肝ガンのため亡くなる。享年55歳。1977年にいわさきちひろ絵本美術館（現ちひろ美術館・東京）、1997年に安曇野ちひろ美術館が開館。



香月泰男 Yasuo Kazuki  
1911～1974

山口県三隅町（現・長門市）に生まれる。東京美術学校（現・東京藝術大学）在学中から国画会に出品、同人となる。卒業後北海道に美術教諭として赴任、後に山口県に転任。1938年藤家婦美子と結婚、長男直樹、長女慶子、次女敏子が生まれる。1939年文展で「兔」が特選。1943年に召集され満洲に渡り、戦後シベリアに抑留され、1947年に復員。1948年次男理樹が生まれ、二男二女の父となる。1960年教職を退き制作に専念する。捕虜体験を描いた「シベリヤ・シリーズ」が高い評価を得、1969年第一回日本芸術大賞を受賞。70年代に画壇の人気作家となっても、生涯ふるさとの小さな町から離れることはなかった。1974年心筋梗塞で亡くなる。享年62歳。1993年故郷に香月泰男美術館が開館。



## 戦争

第二次世界大戦は、ちひろと香月それぞれにとって、大きな転換点でした。

恵まれた境遇で育ったちひろは、終戦後、多くの犠牲を伴ったこの戦争の事実を初めて知り、以後、一番弱い立場の人々に心を寄せて絵を描く決心をします。

香月は、戦後2年間シベリア抑留者として生き、厳しい環境のなかで戦友たちの相次ぐ死に接します。そこで体感した想いを、帰国後、キャンバスに向けます。

ちひろが最後に完成させた絵本『戦火のなかの子どもたち』も、香月が描き続けた「シベリヤ・シリーズ」も、自分の体験と重ねながら、戦争の悲惨さ、平和への想いを強く表しています。



3 香月泰男 涅槃 1960年

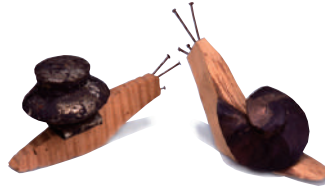
## ちひろと香月泰男

## 小さきものへのまなざし

ふたりは、身近な草花や小さな生き物をモチーフにしています。香月は「制作のほとんどのモチーフを追憶のなかと、家から二、三分の距離より望見されるものにしか求めている」とも語っています。廃材を使ってつくられた香月のおもちゃには、ユーモアとあたたかなまなざしが感じられます。



4 いわさきちひろ シクラメンの花のなかの子どもたち  
『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1973年



5 香月泰男 かつむり 1969年

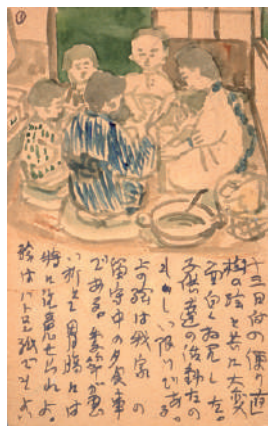


6 いわさきちひろ チューリップと猫と少女 1960年代半ば

## 家族への想い

1933年、満州(現・中国東北部)のハイラルに配属された香月は、終戦を迎えるまでの2年間、家族へ絵葉書を送り続けました。絵に対する想い、そして遠く離れて会うことのできなない家族への想いが強く表れています。

ちひろのスケッチには、夫や息子、隣に住んでいた姪が登場します。画家として、母として、多忙を極める生活のなかで、ちひろは家族を大切にしながら、絵を描き続けました。



7 香月泰男 ハイラル通信 1943年



8 いわさきちひろ 木登りをする子ども 1950年代半ば

## 〇〇〇 関連書籍のご案内 〇〇〇

### 『母のまなざし、父のまなざし いわさきちひろと香月泰男』

ちひろ美術館・編 講談社・発行 定価：本体 1905円(税別)



東京開館35周年／安曇野開館15周年記念

展示室4・多目的展示ホールにて

# ピエゾグラフによる 「わたしのちひろ」展

ちひろ美術館・東京の開館35周年、安曇野ちひろ美術館の開館15周年を記念して、両館で参加型展覧会「わたしのちひろ」展に取り組みます。

2003年から全国各地で取り組んできたちひろ作品へのリクエスト応募は3万件にのぼり、今もなお、ちひろの絵が多くの人々の心に生き続けていることを伝えています。本展では、新たにみなさんからリクエストを募集し、そこに寄せられたメッセージをちひろの絵とともに紹介します。

\*詳細は同封のピエゾグラフによる「わたしのちひろ」展チラシをご覧ください。

リクエスト  
第①位



9 赤い毛糸帽の女の子 『ゆきのひのたんじょうび』(至光社)より 1972年

## 「ピエゾグラフ」とは

ちひろ美術館では、現時点でのちひろの作品の色合いや風合いをデジタル情報として保存し、最新技術の「ピエゾグラフ」という方法によるデジタルアーカイブと「ピエゾグラフ作品」としての複製に取り組んでいます。耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現は、繊細な水彩画の再現性を飛躍的に高め、明るい光のもとでの絵の鑑賞を可能にしました。

この絵が、私のお気に入りの部屋を、温めてくれる。冬の寒い日でも、“こころ”が震えるほどさみしい時でも、このちひろさんの描いた、透きとおるほど純粋な女の子が、温もりをくれる。この絵に出会ってから、わたしの“こころ”はあったかい。

(30代 主婦 長野県)

## 「光の鳥」 FUKUSHIMA ART プロジェクト

図書室にて

2012年3月1日(木)～3月25日(日)



2011年3月11日の東日本大震災で大きな被害を受けた福島県いわき市で、現代美術家・吉田重信と地元の人たちが自主的な復興支援のためアートプロジェクトを立ち上げました。いわき市の人々のメッセージを携えた「光の鳥」と、市民の声を記録した映像「IWAKI一心のこころだま」が東京にやってきます。

FUKUSHIMA ART プロジェクト関連イベント \* イベントの詳細は随時ちひろ美術館HP (<http://www.chihiro.jp/>) でご案内します。

### ● 講演「福島県いわき市 震災のまちから」

3/11(日) 15:30～17:00 多目的展示ホールにて

講師：織田好孝(いわき放射能市民測定室代表)

福島原発事故に見舞われ、放射性物質による被ばくを強制されたいわき市で、いのちと健康を守るために市民有志が「いわき放射能市民測定室」を開設しました。活動に取り組む測定室の代表が、現在のいわき市の復興の現状や、これまでの測定データを報告します。

定員：70名

参加費：700円(入館料別、高校生以下入館料無料)

\*要申し込み 2/10(金)受付開始

(2/10～2/29は、冬期休館中のため03-3995-0772にご連絡ください)

### ● 吉田重信ワークショップ「光の鳥」

3/10(土) 14:30～16:00

3/11(日) 10:30～12:00 多目的展示ホールにて

講師：吉田重信(美術家)

美術家・吉田重信による「光の鳥プロジェクト」のワークショップです。光の鳥の葉書に自由にらくがきし、展示したあと、家族や友人に郵便で届けます。

対象：幼児から大人まで 定員：各回30名

参加費：200円(入館料別、高校生以下入館料無料)

\*要申し込み 2/10(金)受付開始

(2/10～2/29は、冬期休館中のため03-3995-0772にご連絡ください)

●ちひろの水彩技法ワークショップ  
—にじみでつくるおひなさまのカード—

3/3 (土) 11:00~15:00 (最終受付14:30) 所要時間: 30分程度

ちひろの水彩技法をわかりやすく説明し、実際に透明水彩で、ちひろが用いた技法を体験するワークショップ。  
今回は、水彩のにじみを使って、おひなさまのカードをつくります。



対象: 幼児から大人まで

参加費: 200円 (入館料別、高校生以下無料)

会場: 2階ホール \* 申し込み不要、当日参加受付

●「ちひろと香月泰男」展関連イベント  
特別対談 <sup>のみやまぎょうじ</sup> 野見山暁治 × <sup>おおしよしの</sup> 大石芳野

4/7 (土) 16:00~17:30

生前の香月と親交のあった画家・野見山暁治と、写真家の大石芳野が、いわさきちひろと香月泰男が生きた時代と芸術について語り合います。

定員: 80名 参加費: 1000円 (入館料別、高校生以下入館料無料)

会場: 展示室4・多目的展示ホール

\* 要申し込み 3/7 (水) 受付開始

●わらべうたあそび

4/21 (土) 11:00~11:40

講師: 服部雅子 (西東京市もぐらの会代表、ほとさん文庫主宰)

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。

対象: 0~2歳までの乳幼児と保護者

定員: 15組30名

参加費: 無料 (入館料のみ、高校生以下入館料無料)

会場: 図書室

\* 要申し込み 3/21 (水) 受付開始

●「母の日」特別企画  
松本猛ギャラリートーク

5/13 (日) 14:00~

いわさきちひろの息子である松本猛 (ちひろ美術館常任顧問) が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示のみどころなどをお話します。

参加費: 無料 (入館料のみ、高校生以下入館料無料)

会場: 展示室

\* 参加自由



●ギャラリートーク

当館学芸員が、作品の解説や展示のみどころをお話します。

毎月第1・3土曜日 14:00~ 展示室にて

\* 参加自由

●えほんのじかん

展示や季節にあわせて絵本の読み聞かせなどを行います。

協力: NCBN

毎月第2・4土曜日 11:00~ こどものへや

\* 参加自由

○ドキュメンタリー映画 いわさきちひろ (仮題)  
2012年7月劇場公開決定!

○公開: 2012年7月 ヒューマントラストシネマ有楽町ほか

○エグゼクティブプロデューサー:

山田洋次 (映画監督・財団法人いわさきちひろ記念事業団理事長)

○監督: 海南友子 (『ビューティフルアイランズ~気候変動 沈む島の記憶~』)

○ナレーション: 檀れい (俳優)

加賀美幸子 (元NHKアナウンサー)

○製作: ホライズン・フィーチャーズ

○特別協力: 財団法人いわさきちひろ記念事業団

○配給: クレストインターナショナル



黒柳徹子 (女優、ちひろ美術館館長) のインタビューも収録

○ちひろ美術館・東京 次回展示予定  
2012年5月23日 (水) ~ 8月26日 (日)

ドキュメンタリー映画公開記念展  
いわさきちひろ (仮)

映画のなかで紹介される数々の作品のほか、日記等の貴重な資料を、ちひろのことばやゆかりの人々の証言とともに紹介します。

ちひろ美術館コレクション  
奇想の絵本—夢幻とナンセンス—



緑の風のなかで 1973年

- 展示会期... 2012年3月1日 (木) ~ 5月20日 (日)
- 開館時間... 10:00~17:00、GW (4/28~5/6) は 18:00まで (入館は閉館の30分前まで)
- 休館日... 月曜日 (祝日は開館、翌平日休館。4/30は開館)
- 入館料... 大人 800円 / 高校生以下無料  
団体 (有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引 / 障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料 / 視覚障害のある方は無料
- 交通... 西武新宿線上井草駅下車徒歩7分  
JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き (荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分  
西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き (荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分  
駐車場あり (乗用車3台・身障者用1台)

